

児童用学校生活アンケートより

資料2-4

学校生活アンケートを始めて 12 年目となります。結果より見えてくる児童の様子についてまとめました。

考察においては大きく肯定的な回答（そう思う＋少し思う）と否定的な回答（あまり思わない＋そう思わない）に分けて行いました。学年別の細かい資料は別データとなります。表は斜めに見ると同じ児童を見ることができます。（昨年度5年生は今年度6年生です。）

1. 回収率

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	全体
児童数(人)	103	125	130	126	141	122	747
回収人数(人)	83	107	115	109	133	107	654
回収率(%)	80.6%	85.6%	88.5%	86.5%	94.3%	87.7%	87.6%

2. 結果の考察

○成果

- ・ 90 ポイントを超えていた項目（赤字にしています）

- ・ ①授業は分かりやすいですか ③タブレットはルールを守って、正しく使うことができていますか ⑥そうじ時間はいっしょうけんめいそうじをしていますか ⑦友だちとなかよく協力して学校生活をおくれていますか ⑧学校でいのちの大切さを学んでいますか

- ・ ①の授業や学習内容について評価されていることは、授業の準備から丁寧に行い、伝えたい事が伝わっていると結果だと思います。視覚的な教材の利用や、実際の体験を通じた学びの機会の提供など、今後も工夫していきましょう。
- ・ ③のタブレットは決まりを守って正しく使用するという点においても、規範意識が高く先生方の日々の指導が活きていると感じました。

●課題

- ・ 学習について

②算数の時間に、問題を読み取って絵や図、式に表して考えることができましたか。

昨年度より設定された研究主題になるが、結果は88ポイントで、昨年度とほぼ同じでした。斜めて見ると、3・5・6年生で昨年度よりポイントが上がっています。学年が上がることで、より問題文の理解し、情報を絵や図、式などで整理する方法や視点が増えると考えられます。普段の授業で様々な方法で考えられるよう意識的に授業を展開していけると良いです。

・生活について

④廊下は走らず歩いていますか。

一昨年度より低くなってしまった昨年度からさらに、低いポイントとなりました。

走っている児童はかなり多くいます。特に開錠後に教室に向かう途中、休み時間に外に出るとき、下校時に教室から昇降口に向かうときなど、走っている児童が多く見られます。改めて廊下を走らないことの重要性和理由を児童にしっかりと説明したいですね。視覚的なサインや定期的なアナウンス、廊下モニターの導入など、普段から意識できるような取り組みを進める必要があるかもしれません。

⑤あいさつはすすんでしていますか。

一昨年度から昨年度に2ポイント、今年度は昨年度よりさらに2ポイントが下がってしまいました。目指す児童像が「元気よくあいさつする子」であり、また、あいさつ運動などでも頑張ってくれていたのに残念な結果です。

元気に挨拶ができる児童も多くいるのですが、教師が挨拶をしても反応をしてくれない児童も多くいるのが現状です。デジタルデバイスの普及により、対面でのコミュニケーションが減少し、挨拶をする機会が少なくなっていたり、多くの課外活動や宿題に追われており、忙しいスケジュールの中で挨拶をする余裕がなくなっていたりする可能性もあります。

教職員が積極的に挨拶を行い、その姿を児童に見せることはもちろん、「挨拶リーダー」や「挨拶スポット」など学校全体を巻き込んでの取り組みや、各学級で挨拶への意識づけを積極的に行うなど、挨拶を意識させる取り組みが必要であるかもしれません。

⑨学校は楽しいですか。

昨年度とほぼ同等の結果となりましたが、90ポイントを下回っています。

学校が楽しくなるためのポイントには、信頼できる先生、わかる授業、安心できる教室環境、規範意識の醸成など、さまざまなことが挙げられます。

第3次生駒市教育大綱に挙げられているように、「自分で選び、自分に合った方法で、自分のペースで学ぶ」「みんなが楽しく学び、個性を発揮できる場をつくる」といった視点での授業改善、学校改革についても考えていく必要がありそうです。

・運動について

⑩体育などで、運動することは楽しいですか。

昨年度より2ポイント上がっていますが、90ポイントより下回っている項目です。特に高学年でポイントが低くなる傾向があるようです。

楽しい体育の授業のポイントには、やりたいと思えるような目標があること、質的にも量的にも運動が保証されていること、友達と楽しく関わらせること、安全に活動ができることなど、さまざまな項目があります。学年グループでしっかりとルールや環境を整え、学年に応じた、楽しい授業の計画を立てられると良いです。多様な活動や、全員が平等に参加できるアプローチ、児童自身が創造できること、仲間との協力や競争といった視点で授業を考えていきたいですね。

⑪休み時間に、外で元気にあそんでいますか。

一昨年度よりも4ポイント下がってしまった項目ですが、今年度はさらに4ポイント下がってしまいました。学年が上がると外遊びが減る傾向がありますが、特に4～6年生になると、ガクッとポイントが下がってしまいました。特に斜めで見たときに、4年生で9ポイント、5年生で8ポイント、6年生で26ポイント下がっています。

児童の放課後や休日の多様な過ごし方や、タブレットやゲーム機の普及などにより、昨今は運動量が減ってしまっている傾向にあります。また、強制的な全体遊びをしんどく感じてしまう児童、外遊びよりも本を読んだり友達とゆっくりと過ごしたりしたい児童など、さまざまな児童がいます。また、6年生の中には休み時間の委員会活動が忙しい児童もあるかもしれません。休み時間に外で遊ぶ楽しさや大切さを感じる取り組みを考えていきたいですね。

※この結果の考察は教務部からアンケートを見た一面です。各学年、部会など立場を変えて考察することで、また違った成果や課題が見えてくるかと思います。忙しいのは重々承知していますが、学年会や定例部会での今後の取り組みについて話題に挙げてみてください。学校、学年、学級運営の具体的な改善になると思います。